

# 令和3年度 第3回 鳴門高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年2月10日（木） 10時から11時30分まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

3 会 議

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(3) 協議

① 令和3年度の地域との連携について

事務局より「令和3年度鳴門高校学校運営協議会の取組」について説明した。

② 令和3年度学校評価総括評価表について（全日制・定時制）

ア 学校評価総括評価表(全日制)の学校関係者評価について、事務局から説明し質疑応答を行った。

- ・鳴門教育大学院生との連携で実施した集団面接練習について、従前は無かった良い取組とのご意見をいただいた。
- ・生徒の自転車事故、交通マナーの状況に関する質問について、「命を守る」という姿勢で交通安全指導に取り組んでいる状況について、事務局が説明した。
- ・環境教育、保健衛生対策の推進について、よく取り組めているので「評価はAでよいのではないか。」とのご意見をいただいた。
- ・ケーブルテレビ、市の広報、テレビ局、新聞社等、広報活動をさらに積極的に行った方が良い。また、次年度はG I G Aスクール構想についての内容を加えると良いとご提案をいただいた。
- ・成人年齢引き下げに関わる主権者教育等の取組が、主に1年次となっていることについての質問があった。事務局から現行の教育課程に基づいたカリキュラムによるとの回答、また本校が文科省の研究指定を受けている新課程の教科「公共」の取組内容について説明を行った。
- ・「別室登校とはどういうことか。」という質問について、事務局が不登校傾向のある生徒や特別な支援を必要とする生徒に対して適切な支援を行っていることなど本校の教育相談活動を説明した。

イ 学校評価総括評価表(定時制)の学校関係者評価について、事務局から説明し質疑応答を行った。

「生活習慣が確立されていない生徒の入学に対してどのようにケアをしているのか。」という質問に、入学する生徒一人一人への状況に応じた対応について事務局が説明した。

③ 令和4年度の地域との連携について

事務局より、委員の皆様にも次年度も引き続き委員としての協力をお願いした。

#### ④ 各委員からの提言等について

- ・今年度はコロナ禍にも関わらず、鳴門高校の重点課題において、大きな成果が得られたと思う。過去のデータとの比較は、生徒の学び・教員の資質向上のために課題や成果が見えやすい。
- ・「次年度への課題と今後の改善方策」については、原案を記していると質疑がしやすくなる。
- ・「重点目標」と「評価指標」と「達成度」の表現等を一致させることが望ましい。一部の記述に重点目標に言及していない項目がある。
- ・地域の小学生の放課後ラグビー教室に鳴門高校ラグビー部員が参加してくれた。高校生も指導する側になっていることもある。引き続き活動を続けていきたい。また、防災面でも何か自分でできることを行っていきたい。
- ・新課程および共通テストへの対策について、一步でも先に進む何かをやってほしい。キャリア教育が大事である。学んで良かった(生徒)、学ばせて良かった(保護者)、勤務して良かった(教員)という学校になってほしい。
- ・学校評価における目標が概ね達成できたのは、職員・生徒のみなさんの努力の成果である。来年度は人数が少ないが定時制課程についても十分に話し合いがもてるようお願いしたい。

#### (4) その他

事務局より、2月中旬以降に予定されている「コミュニティ・スクール連携講座」及び公開授業(生徒発表会)等への参加の依頼と日程の変更について連絡した。

#### (5) 閉会